

定期大会に向けて意思統一！ 全分会代表者会議開催

J R 東海労は5月22日、都内で全分会代表者会議を開催しました。

小林委員長は挨拶で「第33回定期大会は節目の大会となる。大会の成功に向けて、情勢を共有し、意思統一を図ろう」と訴えました。

続いて、J R 総連柳書記長より、J R 東労組の状況について報告を受けました。

その後、本部木下書記長が第33回定期大会の方針の基調の骨格を提起しました。意見交換では、柳書記長の報告に対する感想や職場における問題点、大会に向けた決意などが積極的に出されました。

最後に、本橋副委員長がまとめを行い、J R 総連と共に闘っていくことを全体で確認しました。

